

## 1-1. リニア中央新幹線について

**リニア未来創造・推進課**

# 2027年 リニア中央新幹線 品川・名古屋間開業

## リニア中央新幹線ルート概念図



※2045年開業を予定する大阪までの延伸は、財政投融资の活用により最大8年前倒し

### <中央新幹線の整備計画>

建設線	中央新幹線
区間	東京都・大阪市
走行方式	超電導磁気浮上方式
最高設計速度	505km/時
建設概算額 (車両費含む)	90,300億円

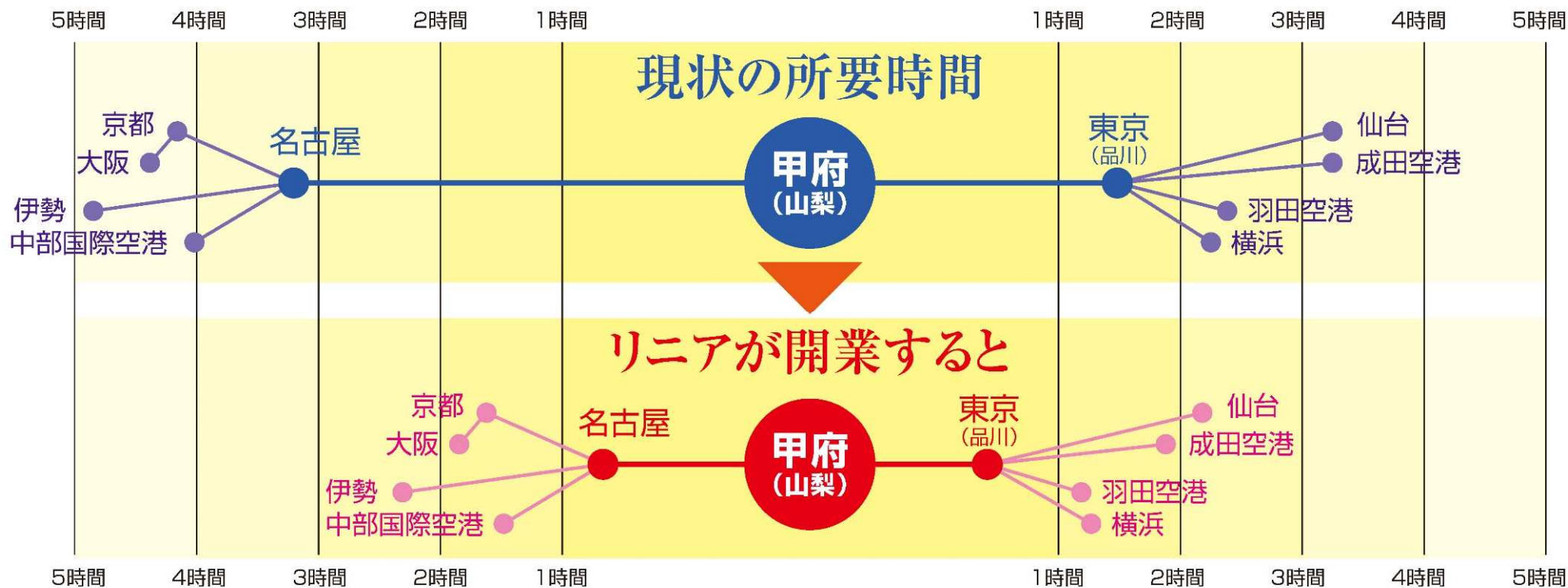
(注)建設に要する費用の概算額には、利子を含まない。

### 路線延長 285.6km(品川～名古屋)

		地上部	トンネル部	計
山梨県内	実験線	7.7km (約18%)	35.1km (約82%)	42.8km
	営業線	19.4km (約48%)	21.2km (約52%)	40.6km
	計	27.1km (約32%)	56.3km (約68%)	83.4km
品川-名古屋間		39.0km(約14%)	246.6km (約86%)	285.6km

# リニア中央新幹線による時間短縮効果

## ➤ 山梨は東京・世界と近くなる



出典:リニア見学センター展示内容を基に作成

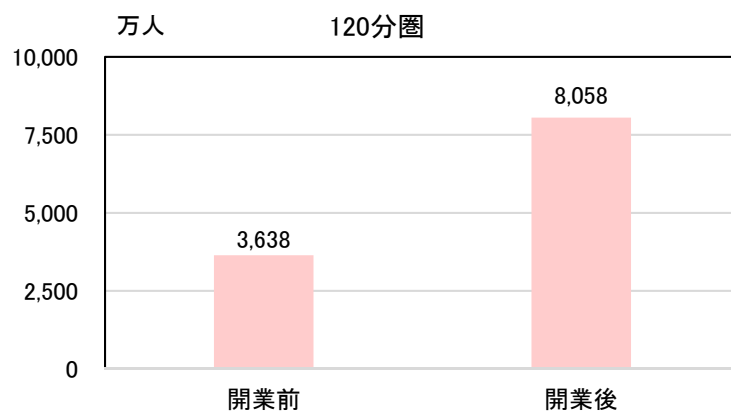
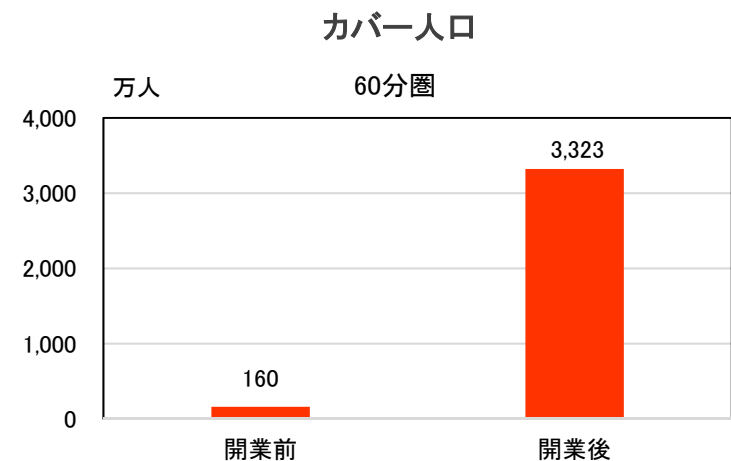


- ✓ 東京都心から約25分・名古屋から約45分
- ✓ 国際空港からのアクセス向上
- ✓ 中京圏・関西圏からの新たな軸

人と情報の交流密度が飛躍的に向上

# 交流可能な経済的勢力圏の広がり

## 【リニア山梨県駅起点、鉄道＋道路】

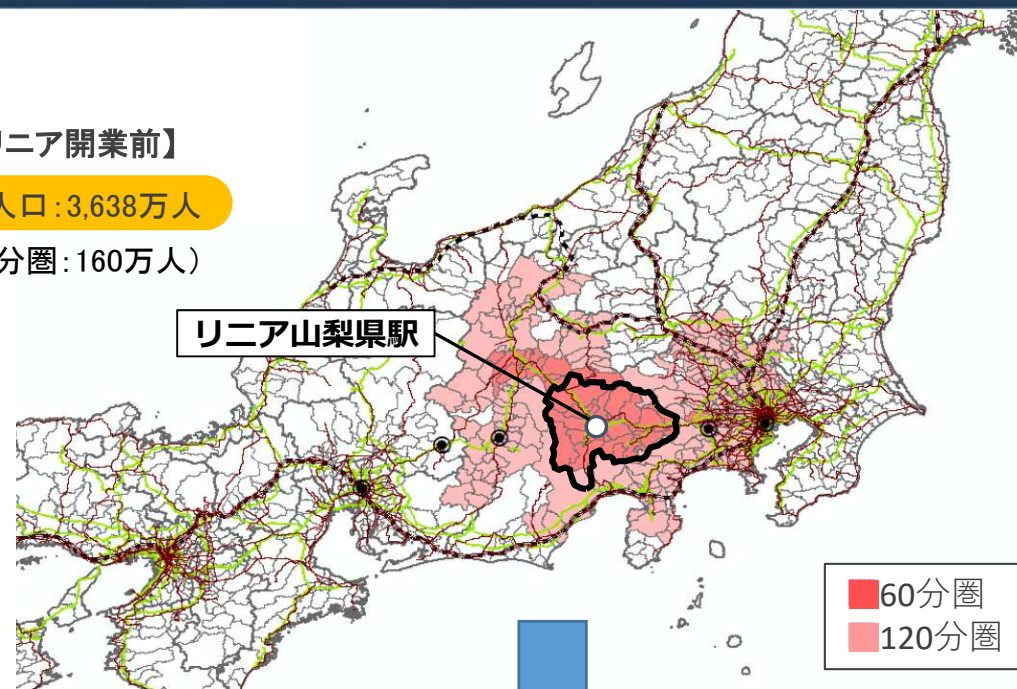


(参考) 1時間・2時間圏域算出の計算条件

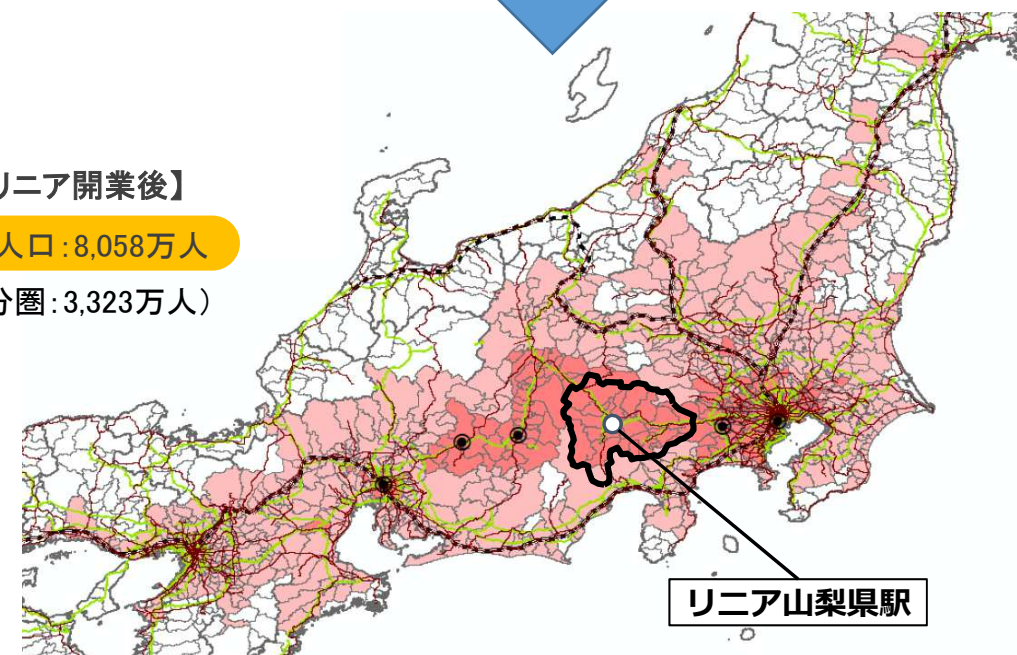
- 自動車利用については、高速道路のIC(双葉IC、甲府昭和IC)を起点とし、1時間・2時間以内のICが当該自治体内にあれば対象とする。最寄りのICが当該自治体でない場合、最寄りのICから当該自治体の行政界までにかかる時間を地図上で測定し、その時間を含めた上で1時間・2時間以内であれば対象とする。
- 鉄道利用については、甲府駅を起点とし、所要時間が1時間・2時間以内の駅が当該自治体内にあれば対象とする。待ち時間、乗換時間は除き、乗車時間のみの合算とする。

出典:国土交通省スーパー・メガリージョン構想検討会資料より

【リニア開業前】  
圏域人口:3,638万人  
(60分圏:160万人)

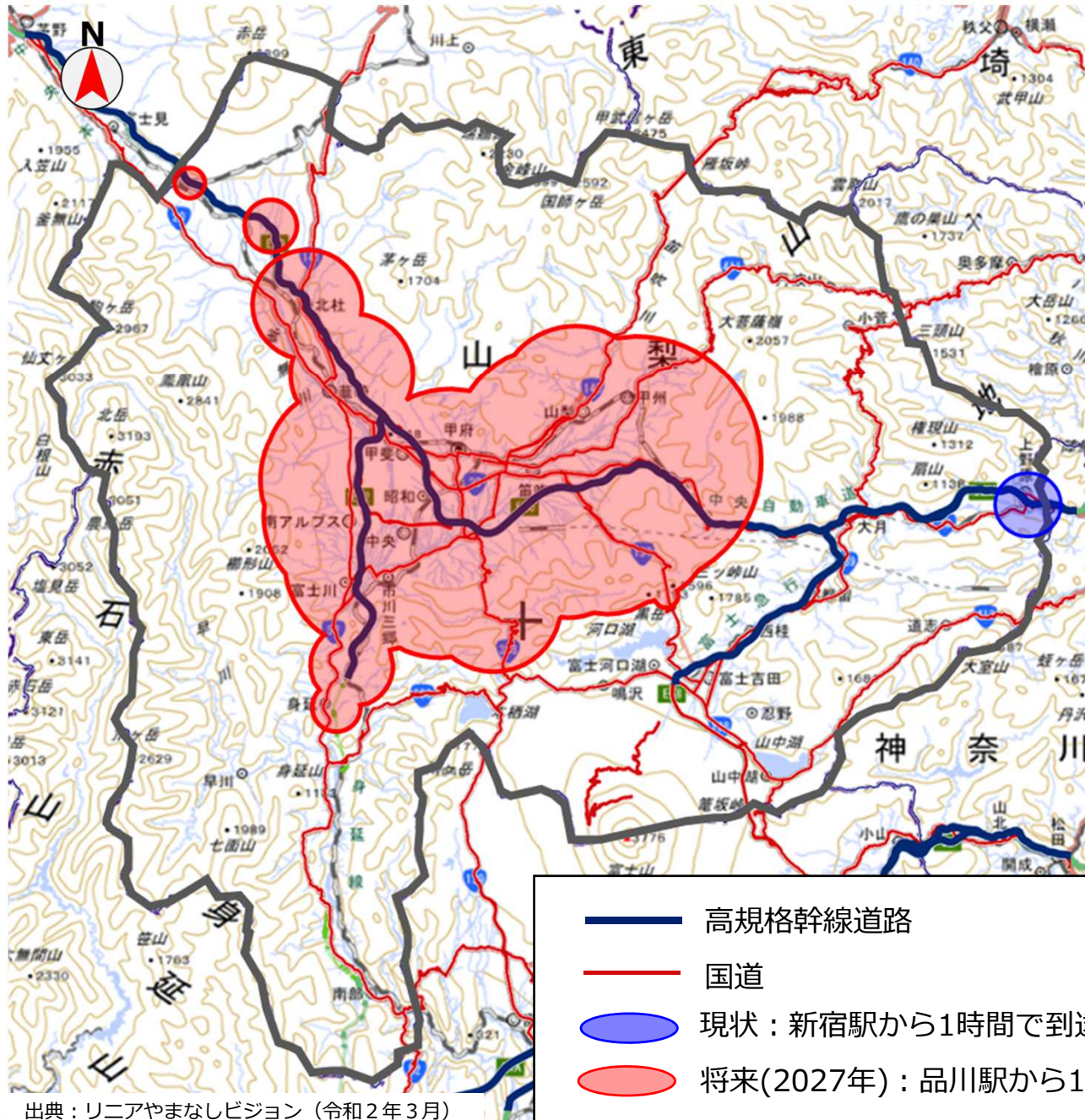


【リニア開業後】  
圏域人口:8,058万人  
(60分圏:3,323万人)



# 都心から1時間で到達できる県内エリア

## 都心から1時間で到達できるエリア



出典：リニアやまなしビジョン（令和2年3月）

リニア開業、県内主要幹線道路等の整備により、都心から1時間で到達できるエリアが拡大

リニア開業効果を  
県内全域で最大限享受